

人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
三朝町	成・吉原集落	令和5年3月22日	—

1. 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	3.6ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	3.6ha
③地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計	2.2ha
i うち、後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.2ha
ii うち、後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積	0.0ha

2. 対象地区の課題

- ・現在は、中心経営体によって農地が維持されている状態ではあるが、将来的には担い手が不足（不在・耕作承継者がいない）する。地区外から新たな担い手を確保する必要があるが、条件不利農地も多く、担い手確保も厳しい状況。
- ・高齢者が多く、法面や水路・農道等の管理が過重な負担となっている。

3. 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・集落の農地利用については、集落全体で担うが、集落外からの経営体（第三セクターや、近隣集落の認定農業者）を新たに受け入れたい。

4. 3の方針を実現するために必要な取り組みや、地区内農業を守るための取り組み

- ・農地の貸付等の意向が確認された農地は、集落での話し合いにより守るべき農地を明確にし、その農地については維持することとする。
- ・スマート農業の活用を検討するが、地区内の農地が広範囲で耕作者が高齢化しているので活用しづらいと思われるのでさらに検討が必要。
- ・山間地での農業経営自体が成り立たない現状であり、作付けを行わず農地維持（耕うん・水張り管理）を目的に取り組むことを検討する。

5. 中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受の意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	営農地
		担い手の見当がつかず、経営継承として不明				